

☆新成人を祝い励ます会↓11月7日(日) 14時00分
会場 東部コミュニティセンター

☆クリーンシティぎふ↓11月19日(日) 8時00分
同時開催 山田川右岸堤防道路清掃↓9時30分

敬老会 琴の音色に合わせ元気に合唱

一芥見東自治会連合会総務部会長・堀 敏彦

9月17日(日)東部コミュニティセンターで芥見東自治会連合会主催の敬老会および岐阜市社会福祉協議会芥見東支部主催の金婚を祝う会を開催しました。当日は台風18号を心配していましたが、予定どおり開催する運びとなり、敬老会は76歳以上の該当者1,085名中255名、金婚を祝う会は47名の出席者を迎え、盛大に行うことができました。

式典は、祝い状、記念品、お祝い品贈呈、岐阜市長のお祝の言葉、来賓の祝辞など粛々と執り行なわれました。休憩を挟み、アトラクションとして「箏きらら」の演奏があり、琴の音色に合わせ若き時代を思い出す青い山脈などを合唱し、大変楽しいひと時を過ごすことができました。



当日、藍川東中学校の生徒25名に地域社会貢献の一環として協力していただきました。お祝い品の袋詰め作業や、やや緊張しながらも会場内の案内役をして頂きました。生徒にとってよき思い出、よき体験になったと思います。心温まる会になりました。



東小PTA 子どもの笑顔のために!

一芥見東小学校PTA会長・山内 茂樹さん

表題は、今年のPTAスローガンです。PTA総会でも話しましたが、「子どもの笑顔のために」私たちにできることはたくさんあります。

しかし、家庭で子どもと接する時間は、実は限られています。朝7時30分に登校、4時30分下校、学校だけで9時間。睡眠時間で8時間、食事や風呂などを3時間、これだけで20時間。残りは4時間しかありません。限られた時間の中で子どもとたくさん話をすることが大切なことだと改めて思います。

それと同時に、地域の方からの声かけはとてありがたいことであると感じます。芥見東小学校の子どもたちは、本当に多くの方に見守っていただいていることで、笑顔で安心して生活できています。「おはよう」「学校はどう?」「今日の給食は何だった?」何気ない声かけ、会話をしませんか? きっと子どもたちも話したいことがありますよ。



防犯パト 地域防犯へ決意新たに!!

一芥見東防犯パトロール隊長・吉澤 頼宣さん

芥見東の防犯パトロールは、平成13年に大阪の池田小学校で児童が殺害された事件をきっかけに、芥見東青少年が平成16年に見守りのボランティアを募集し、32名で開始しました。オレンジ色の帽子を着用し児童生徒の登下校時の見守りを開始しました。その後、芥見南青少年もご参加を頂き、現在「ふるさとよくし隊」の名称として52名で活動中です。

平成17年度以降岐阜市の防犯交通安全課に、帽子、ベスト、ブルゾンを揃えていただき。平成19年には、「芥見東防犯パトロール隊」を発足して活動しています。

このような活動に対し、芥見東・芥見南両各種団体の皆様のご協力により「中部管区警察局長」「中部防犯協会連絡協議会」の連名表彰状を受賞できました。今後も皆様のご協力をいただき、地域の安心・安全なまちづくりに努力したいと思います。



クラブ活動 剣道は、健康保持に最適

一柏台剣道クラブ教士・野村 耕一さん

当クラブは三年程前三浦祥行さんの発声で始まりました。毎週水曜日の午前に稽古しております。

剣道は一般的に防具を着け、竹刀で打ち合う武道と認識されております。当クラブでは木刀を使いますが打ち合うことはありません。木刀による剣道基本技と日本剣道形を稽古しております。

今現在の進行度は基本技の元立と掛かり手は一応習得しましたが、日本剣道形で順序と所作で何かと苦労しております。



木刀を振ることにより肩の動きが良くなり肩こりの防止、すり足によって背筋が伸び姿勢が良くなり健康保持には最適です。経験の有無、老若男女問わず、興味のある方は是非見学にお越しください。



配布
大洞 4-64
東山 4-54
北山 38-358
コト北 5-89
桜台 23-316
桜市 40-192
5棟 2-18
9棟 4-26
柏台 31-313
栢市 26-161
桐丘 23-186
桐市 6-35
紅葉 21-256
紅市 16-99
桜2P 1-17
合計 237-2184

*「こうしては?」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

被災地交流 震災 忘れてはならない

—藍川東中学校3年・山下 和真さん

私は、この研修で多くのことを学びました。行く前は、「もう復興は終わりつつあるんじゃないか」などと考えていました。



しかし、研修で見た多くの景色が想像とはまったく違うものでした。復興が進んでいるのはごくわずかな地域だけで、震災から6年がたった今でも仮設住宅で暮らす人が多くいました。当時、つらい思いをされた語り部さんの話を聞いたり、多くの被害を受けた大川小学校を訪問したりしました。

震災後の今を取り上げたニュースなどはよく目にして分かっているつもりでしたが、現地に行ってみると、想像もできなかったような雰囲気を感じられました。自分の目で見て、耳で聞き、体で感じたものは実際に訪問してみないと分からないことがいくつかありました。こんなに普通に生活しているのか、もっと一日一日を大切にしていかなければならないと思いました。震災から6年が経ち、忘れられようとしています。しかし、決して忘れて



はならないことです。いつ自分の身に災害が起こるかはわかりません。一人一人が、被害が起きないためには何ができるのかを考え、備える必要があります。

今回の研修で感じ、学んだことを多くの人に知ってもらい、防災のきっかけになればよいと思います。 □■

インタビュー 「何でもやってみる！」

—柏台支部・羽田野 一廣さん

今回、地域内で90歳以上のお元気な方に、その元気な秘訣をお聞きする機会を設け、その第一弾として柏台の羽田野一廣さんにお話を伺ってきました。

—まず、普段の生活を教えてください。
 私は、普段体を動かすことが好きで、グラウンドゴルフもそうですが、天気の良い日は40～50分程の散歩を欠かさず行っています。友人を誘ったり、近所の方と語ることが好きです。

—心掛けていることは？
 興味のあることは、「まずやってみる」ということです。将

棋、マーじゃん、菊の栽培。また、なんでも食べることに、特に牛肉のステーキが好きです。最近では、ボケ防止に似顔絵を描くことや俳句などにも挑戦しています。一最後に、地域の皆様へ一言お願いします。

何事も、「思い立ったらまずやること」。

そして、この歳になると、地位や、お金といったことよりも、自分自身の「こころの財産」が大切であると思うようになりました。以前は、「おれが・・・おれが・・・」という意識が強く、子ども達にも「誰のおかげで食べていけるのだ！」みたいなことを言っていました(笑)最後に、ひとこと、「悪いことは向こうから来るけども、良いことは自分から行かないと来ない！」



◇プロフィール◇

郡上郡の旧西和良村の小那比で生まれ、船乗りを経験するなど好奇心旺盛な青年期を経てその後、鉄工所では繊細な加工技術を磨かれました。ここ柏台へは、3年前に越されてきました。 □■

新支部長 「人」に感謝 「物」に感謝

—柏台支部長・児山 勇さん

私が支部長をさせていただいて、約半年になりますが、それまで気付かなかった点が2点ほどあります。1つ目は、「心からありがとう」という感謝の気持ちです。例えばごみゼロの時でしたが、藍川東中のPTAの父兄の方が、一生懸命、汗だくになって作業をしてくださいました。この姿を見ましたら、この地域はこれからも安心ではないかと思いました。また、何らかの役に関わり、行動をされている皆さんには、「本当にありがとう」です。

2つ目は、よい言葉との出会いです。私が配布に行きますと、あるご自宅の玄関先に、配布物を入れる箱がありまして、その箱に「感謝、感謝」と書いてありました。どなたが考えられたのかはわかりませんが、よい言葉です。私も、「人」に感謝、「物」に感謝、こうした気持ちで残りの人生を歩んでいきたいと思っています。

最近、竹ぼうきを持つようになりました。今までは、両手で掃いていましたが、ある時、左手で優しく持って支え、右手で掃くと、わりと楽にできることに気がきました。皆さんも試してください。こんな機会を与えていただき本当にありがとうございます。 □■